

館報 はた

スージーちゃん スイカワくん

平成 29年 7月 1日 現在

世帯数	6,077戸
人口	15,753人
男	7,598人
女	8,155人

波田少年少女合唱団 アンサンブルコンサート

今年で 10 回目となった波田少年少女合唱団のアンサンブルコンサートが、5月28日にアクトホールにて開催されました。

小学生チームは2年生から6年生までの各学年、中学生、高校生チームもそれぞれ全学年のメンバーが出場したほか、大学生チーム、そしてOG合唱団まで幅広い年代の歌声が響くコンサートは、休憩を挟んでの前後編で18曲演奏した後、アンコールでは定期演奏会で発表する予定のデイズニーの曲「イツツ・ア・スモールワールド」も演奏されました。

アンサンブルコンサートは毎年好評を博しており、開場30分前から入り口には長蛇の列ができていました。チケットも完売で、席も満席となりました。



スタートは全員での合唱と独唱で、その後各学年の小学生チームが1曲ずつ披露しました。高学年のチームはあどけないながらも、明るく自由でのびのびした歌声を聴かせてくれました。低学年チームも元氣な振り付きで歌う姿が大変かわいらしく、観客みんなを笑顔にしていました。

中学生チームになると、1人の声量がいっぺり出ていて、ハーモニーも美しく心地よいメロディーがホールを包みました。



高校生・大学生チームは、さすが経験豊かで表現力もあり、難しい英語の曲も難なく歌いあげていました。曲の途中、思わず「おおー」と感激しました。

OG合唱団が歌う「青いベンチ」という曲は、今から13年前にヒットした曲で、本来は男性が歌う失恋の歌なので、気持ちを入れて歌うために練習を重ねたそうです。

波田少年少女合唱団は現在、定期演奏会に向けてダンスをしながらの合唱に挑戦しています。今後の活躍にますます期待が高まります。



OG合唱団が歌う「青いベンチ」という曲は、今から13年前にヒットした曲で、本来は男性が歌う失恋の歌なので、気持ちを入れて歌うために練習を重ねたそうです。

波田少年少女合唱団は現在、定期演奏会に向けてダンスをしながらの合唱に挑戦しています。今後の活躍にますます期待が高まります。

レクリエーションは、ポケットボールと開運お手玉ボードの2種類のゲームで、4チームに分かれて対抗戦を行い、歓声と笑い声が響く中で珍プレーや好プレーが続き、1位から4位までの順位で金・銀・銅のメダルを町会長が授与しました。

茶話会は、デイホームボランティアによる手作りの煮物、そばサラダ等の茶菓子に

6月8日に8区町内公民館において8区出前ふれあい健康教室が開催されました。波田地区福祉ひろば職員、町会役員、民生委員、デイホームボランティア等のスタッフを含め総勢40人が参加し、楽しい1日を過ごしました。

デイホームボランティアによる季節の歌、演芸からスタートし健康体操、レクリエーションを実施し、その間に保健師

8区 出前ふれあい健康教室



舌鼓と会話が弾みました。波多腰真町会長は「地域の皆さんのご協力により毎年できることに感謝です。」とのことでした。

波田小学校運動会

「見せましよう！はたっこの底力も」



5月27日に波田小学校にて運動会が行われました。天気は晴れ。気温は20度前後で、参加者に負担が少ない絶好日よりでした。時代の変わりを大きく感じさせられた運動会でした。熱中症のことを考え、9月〜10月に当たり前の様に行われていた行事が5月に行われ、午前中で終わらせる過密プログラム。しかしながら内容は充実しており、感動をもたらした1日でした。

私は第2次ベビーブーム生まれだったため、全学年のかけっこだけで午前中いっぱいばかり、合同でのお遊戯でも閉会式は16時でした。

さて、開会式が始まり選手宣誓が聞けたところでいよいよ始まると、ワクワクするなか校長先生の「この整列から演技は始まっています。」という言葉に、思わず「みんな、頑張れ」とエールを送りました。

かけっこが始まり、誰一人転ぶこと無く、かけっこが苦手の子ども達も一生懸命走っている姿に感動しました。順位なんて何番でもいい、走り切ったことを全

員ほめていました。

続いて学年合同での騎馬戦・綱引きが行われました。少々練習不足を感じた動きでしたが、応援に力を抜くことはありませんでした。次は各学年のお遊戯。1年生は玉入れでしたが、勝ち負けではなく楽しんでいました。何だか嬉しくなりました。一息付いたところで紅白リレー。この競技だけは息子がいる白組応援に全力を尽くしてしまいました。抜かれたら「行っけー」と恥ずかしいくらい不平等応援をしてしまいました。

クライマックスともいえる組体操が始まりました。練習時間たけでなく、演技内容の見直しも厳しくなると、終わる頃には涙が出る程でした。

最後は大玉送り。全員での競技で運動会にふさわしく感じました。「見せましよう！はたっこの底力を」



のテーマ通りに、全ての演技・競技に感動をもらいました。欲しいと、全体の行進後に開会式でもいいかな。とはいえず、皆様本当にお疲れさまでした。

町内公民館対抗オール野球大会

優勝は22区



白

恒例の野球大会は5月28日・6月4日の2日間で行われました。

2日間ともに少し汗ばむ様な初夏の爽やかな好天に恵まれ絶好の野球日和となりました。



1日目は中央運動広場と波田学院グラウンド、今年初めての初めの梓川の水苑運動

場に分かれて、18チーム(1チーム棄権)で試合が行われました。中央運動広場では、開会式が行われ体育委員長の挨拶・始球式がありました。

2日目の試合は、中央運動広場と波田学院グラウンドで勝ち残った6チーム(1チーム棄権)で試合が行われました。各会場で、様々な試合が行われました。5回裏サヨナラのゲームや、あわやコールドのゲーム、手に汗にじむような投手戦など。選手の方々は真剣にプレーに取り組んでいました。また応援の人たち

も楽しそうに大きな声をかけていました。

1日目の梓水苑では、好天に恵まれたためバーベキューのお客様で駐車場が満杯で、駐車するのが大変だったと聞きました。下島グラウンドの整備が間に合わなかったとのことです。

今回の大会で残念ながら4名のけが人が出たそうです。最近では野球ばかりでなく、スポーツをする方の減少で、普段体を使わないためだと思えます。また、2日間で行う日程が良いのか検討されるでしょう。2日目に不参加の区もありました。今後、この大会をどのようにしていくのか課題となるでしょう。大会の試合結果は次の通りです。



町内公民館対抗オール野球大会結果

- 優勝 22区
- 準優勝 20・27区合同
- 3位 7区・8区



「学ぶことをやめたら教えることをやめなければなら

ない」ロジェ・ルメール(前フランス代表監督。私が大切にしている言葉で、以前サッカーの指導者ライセンスを取得した際に、教本の最初に書かれていた言葉でした。

何かを伝えなくてはならない場面は常に存在します。その時に相手に分かりやすく伝えるには、そのことをよく理解している必要があります。物事を理解するためには、学ばなければなりません。今は便利な世の中になりましたので、少し調べると答えが分かります。いろいろな方の考えや意見も瞬時に把握することができそうですが、人の意見や薄い知識だけに頼ってはいけません。相手には伝わりません。よく理解し自分の言葉で伝えられるように日々努力していきなさいと思います。私にはまだまだ足りないことばかりです。で、学びの日々が続きます。

